

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (甲信越)		乗用車販売店（経営者）	・消費税再増税前の駆け込み需要が、一層増えると予想している。
		遊園地（職員）	・ゴールデンウィークの10連休による、周辺エリアの観光客数増加や外国人旅行者の来園、イベント等の集客施策の実施により、引き続き来園客数の増加を期待する。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・消費税再増税がどのくらい売上に影響を及ぼすかは不透明である。液晶テレビの買換えや前年の猛暑騒ぎによる今年のエアコン消費も見込まれるため、売上が期待される。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・エアコンと夏物商材の動きに期待できる。
		スーパー（経営者）	・3月は前年比で売上は8%増、来客数は2%の減である。3月下旬に店舗前面の道路が開通し、新しい信号が点灯した。何日か経過すれば、交通量が増えていることを実感でき、店頭販売、来客数が増えるかと期待している。外販は6月までは、コンサートイベントが多く、忙しくなる。しかし、余りにも依頼が多いので、当社1社では対応できず、3社で分担することになった。6日間の仕事が2日間になり、2～3日に1度の大量注文なので、少し楽になっている。この他にも地域の仕出しの仕事もあり、こちらも断れないので、確実にこなしていく。
		衣料品専門店（経営者）	・景気は決して良くないが、夏物の準備などで多少は動きが出る。ただし、期待はできない。
		一般レストラン（経営者）	・店の周年行事に合わせ、新ブランドを立ち上げた。地域に新たに観光協会が設立され、入会金を払って入会したので、宣伝効果を期待している。
		観光型ホテル（支配人）	・数か月先の予約状況は、週末だけでなく平日もおおむね良好である。
		観光型旅館（経営者）	・ゴールデンウィークが10連休となり、その予約が大変多くなっている。連休の分だけ売上増を見込んでいる。
		都市型ホテル（支配人）	・ホテル業のため、消費税再増税前の駆け込み需要は見込めない。前月から宿泊料金を値上げしたが、宿泊予約の落ち込みはみられない。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・年配者はまだ大勢いる。最近は連れ合いに先立たれた人からの相談が増えている。
		商店街（代表者）	・景気が良くなったと皆が言うが、実際には物価が上がってきており、いろいろなことで今まで以上に生活費が掛かるような仕組みになっている。決して景気が良くなるとは思っていないし、ますます大変になってくるのではないかと。
		商店街（代表者）	・ゴールデンウィークの10連休は多くの方が旅に出て混雑すると思うが、その前後は例年と比べて暇になってしまうのではないかと。
		百貨店（営業担当）	・今の来客数や販売量の推移をみていくと、これといって上下するような感じには見られない。現状が続く。
		スーパー（経営者）	・競合店も実績が悪いという危機感があり、競争は厳しくなる。
		コンビニ（店長）	・時期的な売上は上がってくる頃だが、気温にもよるが、例年に比べるとやはり難しくなるような気がする。
		家電量販店（店長）	・来客数の減少に歯止めが掛からない状況は続いている。
		乗用車販売店（経営者）	・新車販売では消費税再増税による駆け込み需要が期待されたものの、3月の販売の動きは鈍く、今後も販売台数の増加は期待できない。
		一般レストラン（経営者）	・ゴールデンウィーク等により、観光地では多少期待するも、現状から先行きを考えると、個店では不安が先立つ。
		スナック（経営者）	・今月は送別会のシーズンで、それなりに人が動くものと思っていたが、集客は思っていたほどではなく、何軒も大々的に送別会をやる時代は終わってしまったのかと感じている。この先の歓迎会なども、比較的質素に会をやるような感じが見受けられるので、余り期待できない。
	ゴルフ場（経営者）	・暖かい日が続き、予約は順調に推移している。しかし、統一地方選挙の最中で、プレーヤーが落ち着かない様子である。	
	設計事務所（経営者）	・依頼数は比較的多いままで変わらない。	

	百貨店（店長）	・気温の変動が大きい影響もあるが、主力の衣料品が不振である。消費税再増税も控えており、心理的な影響もあるように見える。		
	スーパー（経営者）	・輸出関連工場が暇そうである。値上げの春で、財布のひもは固くなる。		
	スーパー（副店長）	・3か月後はゴールデンウィークの10連休も終わり、消費税再増税も間近に控えており、客は今よりも節約傾向になる。		
	コンビニ（エリア担当）	・改善の兆候はみえないため、やや悪くなる。		
	自動車備品販売店（経営者）	・製造業が受注減により、出勤シフトに余裕が出始め、残業や休日出勤が減り始めている。		
	一般レストラン（経営者）	・消費税再増税に対する駆け込み需要は多少あるだろうが、現時点の税率8%でもかなり高いので、目先の明るい、相当余裕がある企業や消費者でないと動かない。さらに、キャッシュレス決済の複雑さも影響が出るのではないか。		
	スナック（経営者）	・今のところ良くなりそうな気配がない。しばらくは我慢しないとイケないようである。この状況で消費税再増税となると、致命傷になりそうで不安である。新元号の新しい時代をどん底からスタートするのは勘弁してほしい。		
	都市型ホテル（スタッフ）	・4月1日以降、食品関係の値上げがある。消費者のマインドが落ち込むのではないかと懸念している。		
	旅行代理店（副支店長）	・個人旅行客のゴールデンウィークの出足は順調だが、一般団体、企業旅行の受注は落ちており、景気低迷が予想される。先行き不安の企業が多く、英国のEU離脱問題、米国と中国の情勢によっては、かなり冷え込む可能性が高い。中小企業では製造ラインを停止しているところも出始めている。		
	タクシー運転手	・ここ数か月、前年比100%にいくことはない。だんだん下がってきており、今月は恐らく同比95%である。		
	通信会社（経営者）	・競合他社との客の奪い合いが激しい状態のまま、しばらく続きそうである。		
	住宅販売会社（経営者）	・10月の消費税再増税の心理的な影響が、ぼつぼつと出始めており、販売停滞の懸念がある。その一方、駆け込み需要に関しては期待できない。		
	×	スナック（経営者）	・毎回同じような回答だが、とにかく良くなる要素が全然見当たらない。何か良い方法はないだろうか。	
企業 動向 関連  (甲信越)		*	*	
		食料品製造業（総務担当）	・10連休を大規模な商機と捉え、イベントや企画を打ち、売上増とできるよう、今から準備を行っている。	
		電気機械器具製造業（営業担当）	・5月から生産量が増加する傾向にある。	
		金融業（経営企画担当）	・新年度には製造業の在庫調整は解消され、生産調整も緩やかな回復傾向との情報があり、好転に期待をしている。	
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・5月の新元号スタートやゴールデンウィークの10連休に合わせて、小売や観光業を中心に、各企業がイベントや企画など様々な販売戦略を行い、売上は上向くと予想している。	
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・紙代や他の値上げで、大変厳しい状況が予想される。	
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・店舗の一部商材で受注が増加しており、売上に期待したい。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・今後しばらくは受注見込みがある。	
		建設業（経営者）	・工事は今後も変わらないと思うが、人手不足でもあり、同業者間の競争が激しくなる。	
		食料品製造業（製造担当）	・良くなる要素がない。現状維持で、売上が伸びていく感じはない。	
		一般機械器具製造業（経営者）	・国内の受注動向に大きな変化はないが、海外需要及び為替動向が不透明である。	
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・国内マーケットは相変わらず冷え込んでいる。株価の低迷も、高額品の販売に水を差している。	
		金融業（調査担当）	・米中貿易摩擦の影響はすぐには解消しない見通しである。企業の先行きに対する慎重姿勢にも変化はない。	
		×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月のことだが資金繰りが大変である。
	雇用 関連		-	-
		-	-	

(甲信越)	人材派遣会社（営業担当）	・ベースアップがないため、消費意欲の湧かない人が多い。
	求人情報誌製作会社（経営者）	・最近、周辺に大型高齢者介護施設が開所された。数か月前から職員募集をしていたが、思うように人が集まらず、苦戦している。
	職業安定所（職員）	・春先の需要増は見込まれるが、人手不足とコスト高から景況は一進一退の状況である。一方、転職を考える在職者が増えつつあるが、必ずしも早期応募にはつながっていない。
	職業安定所（職員）	・ここ数か月、有効求人倍率に大きな変動はなく、安定して1.6倍台で推移していることから、当面は現状が続くと推察される。また、海外企業の設備投資や国内の個人消費に力強さが出てくるまでは、現状維持が見込まれる。
	職業安定所（職員）	・パートを含む全数の求人倍率は前月と変わらず、高水準を維持している。有効求人は前月より増加しているが、求職者も増加し、数年ぶりに、前年同月を2か月連続で上回っている。ただし、求職者の増加は、定年、期間満了等の一時的なものと判断している。
	民間職業紹介機関（経営者）	・中国経済の減速から、影響を受ける製造業の話が目立ち始めている。製造業大手の子会社で、生産調整や在庫調整から週休3日を始めた企業がある。
x	-	-